



代っ子通信

令和7年10月1日
<第31号>
校長 平塚智康

先生だって勉強！～教育委員会の学校訪問～

9月19日に、石川県教育委員会・加賀市教育委員会の学校訪問がありました。全教員が授業を公開し、教育委員会の先生方から指導・助言を受けます。教育委員会の訪問以外にも、自分たちで自主的に授業を見合って授業力を高めるための研修を行ったり、教師として子どもたちとどう関わっていけばよいのかについて悩みや課題を出し合い話し合ったりします。そして、白熱した議論が夕方遅くまで続くこともあります。また、時には、校外に研修に出かけることもありますし、他の学校や県外から本校に視察に来られて対応することもあります。6月中旬には、兵庫県や富山県の教育委員会や学校から大勢の方々が視察に来られましたし、北海道の教育委員会からは、本校や加賀市の学びの改革について解説・指導できる教員を派遣してほしいという依頼も受けています。

このように、山代小の先生たちは、子どもたちの「できた！わかった！学校って楽しいな。」という笑顔に出会うために一生懸命勉強し、がんばっています。私も含め、教師としてまだまだ力不足で、反省しなければならないこともたくさんあります。そうした自分たちの課題について、目の前にいる子どもたちの姿から、私たちは真摯に学び続けなければならないと私は常々思っています。（職員にもそのように伝えています。）そして、教師として日々修行を積みながら成長していきたいと思っています。保護者の皆様、今後ともどうぞ温かいご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。



加賀市小中学校 科学作品展

<優秀>	2年	〇〇	〇〇	「ドローン円ばんのひみつをみつけよう！」
<優良>	6年	〇〇	〇〇	「月面探査ローバー」(科学工作)
<佳良>	1年	〇〇	〇〇	「3分でシャーベットをつくるじっけん」
	3年	〇〇	〇〇	「ベイブレードXを調べよう」
	3年	〇〇	〇〇	「お花を好きな色にそめてみよう」
	4年	〇〇	〇〇	「たまごの実験」
	5年	〇〇	〇〇	「ハムスターの能力を数字で表してみよう」
	5年	〇〇	〇〇	「声でお知らせ！ドキドキおみくじ」(科学工作)
	5年	〇〇	〇〇	「ゆらゆらギター」(科学工作)
	5年	〇〇	〇〇	「マスアラーム」(科学工作)



どの出品作も、写真・図・グラフなどを使いながら、わかりやすく、ねばり強くまとめられた力作ばかりでした。科学工作にもたくさんの工夫が見られました。よくがんばりましたね。すばらしい！

ご家庭においても、夏休み中、子どもたちの自由研究や工作、応募作品、宿題等に対して、たくさんのサポートをいただいたことと思います。ご協力誠にありがとうございました。

親と子どもが知恵や力を合わせて、一つの作品を作り上げるという経験は、子どもたちにとってかけがえのないものです。我が家でも、「今でも自由研究ってあるん？〇年生の時の自由研究大変やったわ。夏休み最後の日の晩まで書いとったよね。・・・」などと今でも話題にのぼります。私は、こうした経験が、きっと子どもたちの財産になっていると思っています。

教育実習 ~養護教諭を目指す本校卒業生にエール！~

9月1日～30日の1か月間、本校卒業生で大学4年生の〇〇さんが、〇〇養護教諭の指導の下で養護教諭の教育実習を行いました。長いようであつという間の4週間でしたが、保健室で養護教諭の業務を学んだり、様々な事情で保健室にやって来る子どもたちに寄り添いながら支援したり、1年生から6年生までのいろいろな先生方の授業を参観したりしました。また、毎日、日替わりで各教室の朝の会や給食に参加するなど、積極的に子どもたちと触れ合うことに努め、がんばっていました。

〇〇さんの教育実習のまとめの研究授業は、4年生の学級活動（保健「体の成長とわたし」）の授業です。思春期の体の変化や初経・精通などについて学ぶ学習です。この学習は、ともすると恥ずかしさから、子どもたちが、ふざけたり、茶化したりすることもありますが、4年生の子どもたちはとても真剣に学びに向かっていました。

今、心に不安を抱える子どもたちがとても増えていて、養護教諭は、子どもたちにとって、学校の中の慈母観音のような存在です。〇〇先生には、体だけでなく、心のケアのスキルもしっかり身に付け、子どもたちに温かく寄り添うことのできる養護教諭になってほしいと願います。



<〇〇先生の研究授業より>